

7月新人研修 苦痛の緩和・安楽確保

研修目的

リラクゼーション技法・精神的安寧を保つための看護ケアの方法を学ぶ



講師
緩和ケア認定看護師
中込 智重子

安楽について考え、タッチングの効果や意図的
タッチングについて講義を受けました



シャボンラッピングを
体験しました



シャボンはよく
振って
泡立ちはいかが
ですか？





相手のことを
思いながら
マッサージ



研修を終了しての感想・7B病棟

丸山 悟

少しの時間でも手を止めてタッチングすることで患者さんのリラクゼーションにつながることを学んだ。今回学んだことを現場で生かし患者さんの安楽を保てる看護を行っていききたい。

曾根裕也

「安全・安楽」というテーマに基づき学習を行った。安楽は患者にしかわからない感覚であるため、ケアの際に患者の反応や望んでいることを確認しながら行うとともに、看護師が患者の状態を把握し、今何を求めているのかを感じ取る力を身に付けることが必要であると学ぶことができた。

清水優美

患者の安全安楽を守るためには、まず、患者自身について知らなければいけないと感じた。患者とコミュニケーションを通し、信頼関係を作り上げ、個性を知り、初めて患者の安全安楽を守れるのだと思う。

木下純奈

タッチングは看護師の触れ方や触れる時間によって感じ方は変わってくるので、患者さんに合わせたタッチングを行い、安楽な看護として提供していききたいと学んだ。